

令和8年度 板橋区立若木小学校 学校経営方針

校長 水谷 知由



経営の基本的な考え方

- 「持続可能な社会の創り手の育成」
- 教師の授業力・専門性向上
- 教職員としてのウェルビーイングの向上
- 学校・保護者・地域・子どもとの連携・協働

教育目標・めざす児童像

「ともに生きる」

◎考えて行動する子
【主体性】

◎思いやりのある
やさしい子
【人間関係】

◎人のためには
たらく子
【社会参画】

◎ねばり強く
あきらめない子
【自己実現】

《目標の実現に向けた段階》

1st Stage 【4～5月】	2nd Stage 【6～7月】	3rd Stage 【9～12月】	4th Stage 【1～3月】
学習・生活の ルールづくり	学習・生活の 習慣化	学習・生活の 一層の充実	学習・生活の 振り返り

令和8年度の重点

- 「succession(継承)」×「update(更新)」
- 「基礎的・基本的学習内容の定着」
- 「あたりまえのランクをアップデート」

経営のスタンス

- 「あなたが大切」
- 「授業で勝負」
- 「なぜ・なぜ3回
プラスワン」
- 「責任と責任感を」

求める姿勢

- 教職員個々の基盤
ミッション・パッション・イノベーション・リスペクション
4つのリミッターの打破
「前例踏襲」「思考停止」「固定観念」「自己制止」
- 学校組織としての土台固め
共汗・継続・徹底・更新

求められるモラル

- 子どもの人権を尊重する
- 教職員のサービスの徹底
- さわやかな言動

特色ある学校づくりの具体策

- 「生成AI」活用・働き方改革
- 「板橋区授業スタンダード」「読み解く力」「一人一台端末」徹底・充実「校内OJT」
- 学級活動・豊かなスポーツライフの充実
- 児童会中心「ルールメイキング」
- 「なかよし班活動」
- 地域連携(さくら草、商店街、けん玉)
- 個別最適な学びと協働的な学び・端末活用
- 外部団体・保護者・地域の人材活用
- 環境の「ユニバーサルデザイン化」
- 「ウェルビーイング休暇」

教職員へのメッセージ

「木を切るのに忙しくて、
刃を磨く時間なんて、
これっぽっちも無いですよ」

「木を切り倒すのに6時間
与えられたら、私は最初の
4時間を斧を研ぐのに費や
すだろう」



(エイブラハム・リンカーン)

最大の「働き方改革」は、自己の能力向上

